

「ジャイアンの言葉」

今日は、ドラえもんに登場するジャイアンのお話をしましょう。

といっても、ジャイアンの声を担当する声優さんのお話です。

ドラえもんの映画の脚本の中に「ばかやろう。のび太なんか死んでしまえ。」という台詞（せりふ）がありました。この声優さんは、「こんなきたない言葉を、映画を見に来る子供たちの前で言いたくない。そんな言葉を使ったら子供たちがまねをして使って、心が傷ついてしまう。」と思いました。



そして、別の言葉で、のび太にけんかをしかける言葉を何日も考えたのです。

そして色々と考え、やっと考えついたのが、「このっ、のび太のくせに。」という言葉でした。そして、映画では、その言葉を代わりに使いました。

みなさんはどうですか？

この声優さんのように、自分の話した言葉を聞く人の気持ちを思いやっていますか？

自分が話した言葉が、相手の気持ちをどんな思いにさせているか考えていますか？

よい言葉を使えば、相手の気持ちを温かくします。悪い言葉を使えば、相手の気持ちを悲しくさせます。よい言葉を使わなくてははいけませんね。

そしてもう一つ、悪い言葉を使えば相手だけでなく、自分自身を傷つけることになります。悪い言葉を使えば使うだけ、自分の心を知らないうちに傷つけているのです。

逆に、よい言葉を使えば、よい心をもてるんです。

例えば、放課後、教室で友達の悪口を言ったりしていると、その友達に聞こえなくても、実は、自分の心を知らないうちにどんどん傷つけ、悪い心がふくらんでしまっているんです。

言葉は魂をもっています。よくない言葉を使えばよくない心が育ち、よくない人生を送ることになります。

よい言葉を使えば、よい心が育ち、よい人生を送ることになります。

校長先生や先生方は、みなさんに素晴らしい人生を送ってもらいたいと思っています。

よくない言葉を使わずに、よい言葉、美しい言葉を使って下さい。